



地元住民発案でイベント開催 城山桜まつり

城山桜まつりは4月22、23の両日、城山公園を会場に行われました。今年では地元住民を主体とした城山桜まつり実行委員会が主催。紫波中央駅と城山公園を結ぶシャトルバスの運行やクラフト市の開催など、初めての試みが多く見られました。22日には紫波町観光案内人「しゃ・べーる」による講談や藤原翼さんによる津軽三味線の演奏、23日には佐比内保育所児童による金山太鼓や二日町こども鹿踊りなどが披露され、町内外から訪れた人々は桜の木の下で催しを楽しんでいました。



青空の下、クラフト市が開催されました



紫波総合高校郷土芸能部と船久保さんさ踊り保存会によって披露されたさんさ踊り(23日)



側溝の泥上げ作業に励む参加者たち

今年一年の決意を込めて 野球場整備

紫波町野球協会(深澤剛会長)は3月26日、今年で7回目となる町営野球場整備を行いました。町内のアマチュア野球チームやスポーツ少年団など約70人が参加。日詰サンダースキャプテンの佐藤良吹君は「大会で良い結果が残せるように、まずは球場をきれいにしたいと思って頑張りました。今年の目標は県大会で優勝することです」とすがすがしい表情でした。

無償で紫波三中駐輪場の塗装

紫波塗装工業組合(鷹鷲匠宣組合長)は4月4日、紫波第三中学校の駐輪場の塗装修繕作業を奉仕しました。塗料は(株)サンリード東北から提供されたもの。鷹鷲組合長は「今回で紫波三中の全ての駐輪場塗装作業を終えます。生徒の皆さんには塗装された駐輪場で気持ち良く登校してもらえれば」と願いを話していました。



思いを込めて丁寧な塗装作業が行われました



男子はブロック、女子はホースの撤去を中心に担当しました

陸上競技場で二中生が奉仕活動

紫波第二中学校(田村敏実校長)の全校生徒122人は4月21日、紫波運動公園の陸上競技場で、走路ラインテープを保護していたホースとブロックの撤去作業を行いました。3年生の佐藤美優さんは「公共施設をきれいにし、町に貢献したいという思いで頑張りました」と笑顔でした。



参加者の素晴らしい歌声に来場者は魅了されていました

南部杜氏発祥の地に歌声響く

南部酒屋唄全国大会(実行委員会主催)は4月23日、JAいわて中央本所パーフルパレスで開催されました。南部杜氏発祥の地であることを全国に広くアピールし、酒屋唄の伝承を目的に始まったこの大会は今回で7回目。町内外から参加した114人がその歌声を競いました。年少部門は^{もとりうた}甞摺唄、一般と70歳以上は^{もとりうた}甞摺唄と流し唄のいずれかの部門で審査。最後に各部門の最優秀賞受賞者によるグランプリ決定戦が行われ、盛岡市の鳴海みよさんが優勝しました。年少部門で最優秀賞を受賞した栗石町の下澤田葵さん(小学6年生)は「3回目の出場でやっと最優秀賞が受賞できてとてもうれしいです。もっと民謡が上手くなって、いろいろな大会で活躍したいです」と誓っていました。鳴海さんと下澤田さんに加え、70歳以上部門で最優秀賞を受賞した古館地区の小川悦子さんは、来年大船渡市で開催予定の「いわて民謡グランドチャンピオン大会」への出場が決まっています。

気象災害について 学ぶ防災講演会

町は3月29日、防災講演会を役場会議室で開催しました。盛岡地方気象台長の和田幸一郎さんが「激甚化する気象災害に備えて」と題して講演。近年、温暖化により短時間で非常に激しい雨が降る傾向にあることや、昨年の台風10号の際に“避難準備情報”という名称が正確に伝わらなかったことを指摘。「災害から身を守るためには、段階的に発表される気象情報をテレビなどから取得し、早めの防災対応を行うことが重要です」と強調しました。



「安否確認のため、家族間で位置情報を把握することも重要」と話した和田さん

野村胡堂・あらえびす記念館 前館長の野村晴一 さんに自治功労表彰

町は3月31日、野村晴一さん(彦部地区)に自治功労表彰を授与しました。平成7年から野村胡堂・あらえびす記念館の開館準備に関わり、平成11年1月から平成29年3月まで18年3カ月もの間、館長を務めた野村さん。式では、熊谷町長から野村さんへ表彰状と記念品が贈られた後、熊谷町長が「野村胡堂の顕彰に多大なるご尽力をいただきました。記念館が地域の皆さんに愛されているのは、野村さんのおかげです」とその功績を讃えました。野村さんは「22年間頑張ることができたのは、周囲の方々の支えや応援のおかげです。記念館が、町だけではなく県の文化芸術の中心となることを期待します」と感謝を伝えました。



熊谷町長(右)から笑顔で記念品を受け取る野村さん(左)

前行政相談委員 笹井岳雄さんに 総務大臣感謝状



(左から)羽鳥所長、笹井さん、熊谷町長

平成19年4月から10年間、行政相談委員として行政相談制度の発展に尽力された笹井岳雄さん(片寄地区)に4月17日、岩手行政評価事務所の羽鳥英雄所長から総務大臣感謝状が手渡されました。行政相談委員は、地域住民の身近な相談相手として総務大臣から委嘱され、行政に対するご意見や要望を受け付け、関係機関への通知や照会、解決に向けた助言を行っています。感謝状を受け取った笹井さんは「相談者に対して、誠意を持って相談に応じることができました」と10年間の活動を振り返りました。新たな行政相談委員には、赤石地区の高野修さんが委嘱されました。(詳細はP11をご覧ください)